

登校拒否・不登校問題

「第24回全国のつどいin長崎」

実行委員会ニュース N04

第24回全国のつどいin長崎実行委員会事務局発行

【事務局連絡先】特定非営利活動法人フリースペースふきのとう

〒857-0874 佐世保市京坪町8-1

TEL 0956-25-6222 FAX 0956-76-8131



自由に発言しながら、ていねいに紡いでゆく作業を・・

2019年5月26日（日）、第4回実行委員会を開催しました。今回も遠く埼玉、京都、大阪、福岡、熊本、そして長崎から、41名の実行委員が集いました。



実行委員長あいさつ♪

今日もみなさんの自己紹介を聞かせてもらった後、話し合いに入ります。最近新聞などに目を通すと、不登校・ひきこもりが増えているという報道もありますが、私たちは報道に振り回されることなく、これまでの歩みをこつこつと続けていく必要があります。

自己紹介♪

「参加している家族会は、いろんな立場のいろんな思いが語られる場。弱音を吐き、弱音を聞いてもらえる場の必要性を改めて感じた。」

「インパクトの強いマスコミ報道によって、ヘルプの声を上げにくくなっているかもしれない。」

「養護施設入所の子が不登校。家族の支援を受けることができない子が学校に行けず、いずれは施設も出なければならない。職員としてどのような支援ができるのか悩んでいる。」

「初めてつどいの分科会に参加した時、結論を出さない話し合いに不思議な感覚を覚えた。結論は出ないが、分かち合ったことをそれぞれに持ち帰って自分のものにしていく。ひとりぼっちを作らない、というのが魅力のつどいは、こんなにも丁寧にならされているんだと、実行委員会に参加しながら感じている。」

「(報道の仕事をしているが) 前回の実行委員会での 8050 問題についての議論にもあったように、何か問題が広く社会に知られる時、誤解も広がることもある。その問題を何とかする、という視点ではなく、その問題で困っている人が求めていることは何か、を考えることが必要だと思う。」

「子どもの話を真剣に聞ける大人が増えて欲しい。」

「学校は子どもたちに競争させる。競争させなくても子どもは自分でやっていく、ということわが子から学んだ。先生たちも学んで欲しい。」

「そのままを受け入れてくれる居場所が必要。学校の中にもそんな居場所を作っていけたら・・・。」

「ここ何年間かで『発達障害』と言われる人が増えているが、人を見る見方が変わってきたのではないかと？思い返すと自分もそうだったのではないかと思う。」

……………他にもたくさんの思いが語られました。

< 第4回実行委員会で決まったこと・話し合ったこと >

特設分科会「ひきこもりを語り合う」の文言について♪

事務局提案は

「長期にわたってひきこもり動けなくなってしまった我が子、何を考えているのか分からない姿に不安がつのります。どうすることもできない親。誰に話せばよいか分からない。そんなつらい気持ち、あせる心を語り合いましょう。」

事務局で、思いのこもった言葉を出し合いそれをつないで、考え出されたものでした。この文言をめぐって実行委員から、たくさんの発言がありました。

○「何を考えているのか分からない姿」という表現に違和感を覚える。「わからない」のはひきこもる本人の問題ではなく周囲の問題なのに、この文章では本人の問題のように聞こえてしまう。

○子どもも親も悩んでいる。自分は、親として「もっとできることはないだろうか」と悩んだ。

○「我が子」となっているが、ひきこもっているのはわが子に限らないのでは？

○「我が子」を「子ども」に変えては？

○「長期にわたって」となっているが、わが子は短期のひきこもりを繰り返している。そういう状況の人が参加を躊躇するのは？

○「我が子」より平仮名で「わが子」とするほうがやわらかい。

- 本当に困っている人、SOSの出し方もわからない人が参加してみようという
気になるかが大切だと思う。細かいニュアンスについては、参加した後に感じ
てもらえばいいのでは？
- 「何を考えているのか分からない」を「何を思い何を悩んでいるのかわからな
くて」とやわらかい表現にしているか？
- 「どうすることもできない」という表現はきつい。
- 「つらい」「あせる」も重たすぎないか？
- わが子とは限らないという意見はもっともだが、年齢のいった人を「子ども」
と総称するのは失礼な気がする。年齢を問わず「わが子」は「わが子」。
- 「わが子」という表現は大事なのでは？

この他にも様々な発言があり、以下のような文言に変更しました。

「ひきこもり続けているわが子、何を思い悩んでいるのかわからなくて不安がつ
のります。どうしたらいいのだろう。誰に話したらいいのだろう。そんな気持
ちを心ゆくまで語り合ひましょう。」

要項全体について♪

文字のフォントや大きさの違い、費用の枠の中の分かり易い書き方の提案など
がありました。ホテルから、駐車場の説明もありました。
参加申し込みの「あきらめずに勇気を出してご参加下さい。」の文言、「あきらめず
に勇気を出して」は少しおせっかいすぎるのでは？という意見もありました。
申し込みの際の立場に関して、年齢との兼ね合いが質問されましたが、従来、自己
申告となっていることが連絡会より説明されました。事務局では今、各所に後援
を申請中です。後援の承諾をうけて要項が完成するのは6月中旬の見込みです。
要項がお手元に届いたらひとりでも多くの方に参加を呼びかけてくださいね。

おたずねシートについて♪

つどい当日、お手伝いしていただける方を募集します。たくさんの方の協力が必
要です。おたずねシートを同封します。FAX その他でお知らせください。
どうぞよろしくお願いいたします。

今後の予定♪

第5回実行委員会 6月30日（日）アルカス SASEBO 第3会議室
第6回実行委員会 7月28日（日）九十九島ベイサイドホテル&
リゾートフラッグス（つどい会場）（時間はいずれも 13:00～17:00）

参加者の感想より♪

今日も率直な意見交換が盛んに行われていいなと思いました。要項の文言1つにも、いろんな受け止め方、捉え方があるのだと勉強になりました。



大人も子どもも生きづらい社会を少しずつ変えていきたいと改めて思いました。



今日も、細やかな言葉の使い方など、自由な議論ができたと思います。



第5回実行委員会のご案内♪

日時：**6月30日（日）**

13：00～17：00

場所：**アルカス SASEBO**

3F 大会議室

佐世保市三浦町2-3

TEL0956-42-1111

交通アクセス：

JR 佐世保駅から徒歩5分

西九州自動車道させぼみなとインターから車で5分



お誘い合わせて
ぜひどうぞ～！
お待ちしております～

実行委員会終了後の交流会にも
どうぞ参加ください♪

子どもサミット

～不登校を通して思うこと～

日時：**6月29日（土）12：30～17：00（12：00 開場）**

場所：**アルカス SASEBO 4F 中ホール**

参加費：無料（整理券が必要です）

主催：NPO 法人フリースペースふきのとう

